躍進また躍進 元年に比し百五十四割の増加

第1千六百餘圓で之を大同元日数六千七百餘回で之を大同元日本向郵便爲替の振出は て世六割八分。 金額に於て世 五萬餘圓に比すれば口歌に於 あるを示してゐる

被關係が全々緊密さなりつつ 大陸の場合で、放にも日滿経 大陸の場合で、放にも日滿経 大陸の場合で、放にも日滿経 大陸の場合で、放にも日滿経 大陸の場合で、放にも日満経 大陸の場合で、放にも日本 順)を減少してゐる (東京||日發認通] 農林省 九月二十日現在

米收豫想高

郵便料値上げ 年度に於ても實現は困難 よの今回土木業の各事項に亘 欧並に顕家及び地方財政に極 によって部會を開き具體的方の消路。河川。港灣の各部門 籍事規則を決定したがこれよ 立したい意味の挨拶あつて後的見地より灌販ある耐策を樹 り統制連絡の調査をなし綜合 〇九、二九六石の増加。作付段別は三、二一〇、一〇三段で前平に比し四五、三七八町歩の減少である 〇石を卵年収穫に比し五。11: 2 大八 後想高は五六。大七五。大八 大七五。大八

増收率指数に依つて見れば、 を示してゐる。即ち之を月別

元年八月を百ます) 100 100 一天 一天 一天 一天 一天 一天 一 不下 一 不下

不可能さして反對電見を有しなく。大觀省さも何等政治的

省では具体的に考慮したこさ注目されるに至つた。が退信

上問題は高権蔵州の首明以來(東京二R發國祖)郵便料値

絵園で取扱口数に於て百四十

九千餘口、金額百十四萬八千に於ける受拂口敷は月別三萬に於ける受拂口敷は月別三萬

五日郵政接收以米郵便は替事満洲國では大同元年七月二十

於ける國内郵便爲替受拂口數

は月別二千八百餘口、金額七

師任の途に就く事を確言した 「上海」B硬製通」駐日及使 蔣作賓は來る七日上海出費の 新作名は來る七日上海出費の

京

最近の政治的交がの結果は大精次官は高橋職相の首明は

策に入る筈である

破綻に瀕

する

南京政府財政

ーセント關稅引上計畫

信省では七年度决算、八年度し得る事になつてゐるが、邁

質算割れる必要なしきされ、

を融風滑さなつたもので民衆 生活の安定しつつあるを物語 つて居る

替に就ては南京政府が全額の中華民観戦局振出しの郵便ほ

わだらうご観られて居るす。九年度に於ても賢現る 直しを行はめ以上必要を認

「上海二日最明通」行詰りの 「上海二日最明通」行詰りの は官吏の俸給支排。江西方頭 に於ける共肥討伐豊の捻出な に於ける共肥討伐豊の捻出な

聯盟保健 博士渡支 スタムパ

のため聯閉保健専門家さして大洪水の雷時も公衆保健施設大洪水の雷時も公衆保健施設 に従事するに決した、スタムの最村再建及び機村行政事業を受諾し向ふ一ク年支那に於る農村再建及び機村行政事業の任命に開聯し帰盟の任命といい、スタムの場合は、スタムの場合は、スタムの場合は、スタムの場合は、スタム 間保健部委員アンドリア、 「ジュキーヴー日辞國通」

支那側は三井併行に一手販賣物は三十日上海に到着したが 作麥借數 棉麥借數

有效なものに限む排波請求に

何或の振出たるを問けず荀くては郵政事業の本質に鑑み其

る満年國内郵品を拂渡局に指

長山本内相以下議員五十名出の根本的改革のをめ内務省にの根本的改革のをめ内務省に「日内の根本的改革のをめ内務省に

視察順樺山愛輔伯の一行は二く東京二日縁國疆)貴院講祭

端蒙視察の途に

環 京 視察の途に上つた 日午後九時四十五分東京 歴 載

るるにも拘らず。 爾州國に於 便民替の拂出を拒絶せしめて郵局に指令して滿洲國振出郵

0) 🚣 米、獨に倣ひ資本の結合で連進しを要認されてゐるので建直しを要認されてゐるので あやう各省さ民間期間に呼び 働者敷量やに就き詳細調査す 轉狀况、經營生産の動力、勞

Ŧ

興安省視察から歸った

多田少將語る

然し黒河の平穏に比し目を

輸入の取締りご商取引

耐岸に轄中るさブラゴエ

真んでゐる、蒙古人さい

身族に闘つて自磐朗の中で期間が過ぎれば又夫々

見たさころで

はそれ程で

さ花柳病を考へるが自分

更に對日本郵便爲替情

業計劃の如何は避民生活の實

の基礎を爲す

もので消路河川

連の協議に續いて。宋子女は を雅さして今回の上海に於け 急報さして今回の上海に於け

約十日間の豫定で黒龍江省警 編軍及びブスト、ハイランの 東安省警備軍を観察中であつ た軍政部最高顧問多田少將は 四田大尉帶同一日歸任したが 往訪の記者に左の如く語る 今回の旅口の目的は主に黒

國軍が問題なくやつつけて 居ない所だし悔くこそ泥的 なものは出るが之ごて研究 なものは出るが之ごて研究 のは出るがとごで研究 のは出るがとごである。

を見に來る6しいがま

の狀況を見るにあつたが吹

うに、これのなが、不同気が付いた 常たく類の上に浮かべて、 しかし君は修修寺以来あの女に と大質は明るやうな海笑ひを、 に既はれたやうに、常」山の河岸の 大質はさら言つてから問題の際 やつとおれ遊に気が付い

で死者六名負集者十四名を出て死者六名負集者十四名を出

一名の

らん、動はないのかつたと

見品安

で語画の店

『うん、芸報二十三だつていつてるかい』 あるい いくら君

まくは行かないから っでに僕の筋帯通りに眺かなけれ 英一が怒つたやうな語調でさら さういふつもりでるてもさん ふと、大質はちよつと聊けるや そんなことがあるものか、 ならなくなるに 極まつて ゐる ...o 東京水柴町三丁目共大番地三方・社 眼鏡の御用は 金華堂へ

長野商會 函造製

流流丸 個子上 電型·清津出帆 天草丸 (雄星·清津出州 泰名 月三日二變更天草丸 田六十六 六四(月)回》 北日本汽船

電話三 五六番 行

管確實



七〇、〇六〇廟)で八月同明日上〇、〇六〇廟)で八月同明日十二隻(一日本邦製 日本移民の 歡迎に

「東京二日發國通」確實なる 廣大な土地提供

ビシニア移民獎勵に移民會社工地三百萬エーカーを阿片栽土地三百萬エーカーを阿片栽培に廣大な土地を提供更にア を投立するに決したご 經濟會議兩代表

(上海二日優の通)に渡り 南代表は二日午前十一時卅分 南代表は二日午前十一時卅分 南代表は二日年前十一時卅分

だの針日感情も非常によかつ

政府の収入二億元増収の目的 を以て日本品に対する関税は 据鍵さして他の商品に對し給 引上案を提出したま言はれて ある

あたから、

今年

なるんだら

を交渉して來たが同行ではそ 引受けを断つた営め張公権 根本建直し 氣運を促進 內閣統計局 を立て」笑つて 英一がさらいふと、大質は馬鹿 つちやあいけない。 「は」」」」、馬鹿なことを

あいつはもち

う二十近くだったからね…… もう十年近くになるが、その時も 「さうかなあっちょつとさうは見 「さうさっだつて僕が知つて 「へえ…っそんなになるのかい」 八か九になるんだよ

風命つてやつの歌に出ると珍なしてくだらんものさ。 そんなものは

「はュュュュ、人間の意志なん

に笑ひながら、

てつの妙に冷たく情無いところが 何うすることも出來まい しかし君だつて運命の前に出た しかし僕はあの運命つて

(百三十二) で仕方がないよ

剛はずに、。 なんだな、はムムムム

見下ろしてゐたが、やがて英一に つた。
てもら駄目だぞ。何らしたつて野などとの合類といふ感じだ。君がいくら見物であやうとしたつな 大質は暫らくちつと二人の方を は面白いぞのいよく序幕だの をいまり、 はいればこの 芝居は始め れないのだ』 僕が登場を肯じない

獨言するやうな調子で、むしろ 「ふん、見たまへ、あの露子の姿 。まるで十七八の女が齎る 場することを思まなくつても とりでに舞楽に出るやうなこと いるや、駄目だよっいくら君が るのだ」 京

になるか、ほんとの年を知つてゐ といつてから英一の方を振り向 るやうな跳子で その言葉を聞くと、 しかし僕は君の筋鬱通りには助

造銀 高價買入 横濱屋質店

東三条通三八州本館南隣 西田方山 尺八輪

神佛具 **道花及生花**

是非御用命

出揃ひました

替九四四三話電

な

ぎ蒲焼

ŀ

すし竹食堂

橋通電話二七二四番

新物いより

御待ち乗の

岩

道具一切 看話三一O八番 新京祝町二丁目 加藤葬儀社

の程願ひます

本溪湖石炭滿鐵指定**販賣** 各種 泰山木局製材部 上販質致シマス 酉 四馬 電話二一五六番 路

冬の 吉理町二丁目 吳 服 陳

今冬流行の 村岡吳服店 新柄 電話二一二四番 列

を碎り **魏無斷上映上演**

日日案內

南湖洲體道株式會社

新京地方事務所長 荒 太 草

森派ベルトライン

吉 野 町

高根 秀 浩畵) 勇

のたっが、大質はそんなことには 言葉には何處か寂しい響が飾つてさり投げるやうにいった英一の それぢやあ今日會ふのはあれ以 銀四十五九番 馬場紙函工場 富士丁二丁目十四 部時女事務員 至級人用世識より卅五歳を 水柴町三丁目 水柴町三丁目

産師 北電話四七八六番

四丁目電話三三四一番(呼出) にに御預り致します梅ケ技町 は御希望に使り拙

洋帳簿名種製本專門 電話三三四番電話三三四番 染洗 張 專 門 消防線候人

六、本取締規程の昭和八年十月十日=リ之ヲ實施ス元、前項ノ駅可ラ受クタル荷馬車の指定ノ標族を表示スロシーは、前項ノ駅可ラ受クタル荷馬車の指定ノ標族を表示スロシーは、運搬制件の、運搬制件の、運搬制件の、運搬制件

新京地方事務所

P

美酒佳肴 電話三四九〇番

省生品 见云…… 级意 海一報以易参上及掃除並之神轉居先住宅の消毒 M 元 W C 並語獨

鵜殿兄弟商會 電話二四八二番へ

東五條通以東各道路 東五條通以東各道路 東五條通以東各道路・シラ左記ヲ指定ス 東五條通以東各道路・シラ左記ヲ指定ス 東五條通以東各道路・シラ左記ヲ指定ス 東五條通以東各道路・シラ左記ヲ指定ス

和泉町但シ寬城子街道踏切以西瞰道線路ニ添フ新設道日ノ出町

附屬地外ョリ附屬地テ通莨スル荷馬車の該道路ニ依道北各消路

上花國 吳產 は

疊

英印兩國に

政治的意味を多分に包藏

(シュラー日酸納通) 過数のロンドン世界経濟會議の失敗を轉機さして経濟的機家主義の失敗

「上海一日韓國連」南京政府 の財政行詰りは既に周知の事 實だが支那の秋季決勝日たる 中秋節を目近に控へて常局者 は必死さなつて之が切抜け策 を講じて居るが、先日平財政 を講じて居るが、先日平財政 を講じて居るが、先日平財政

間下政府は財政上非常に困難を感じてゐる昨日の宋子 文邸での會議を全く之が對 策協議の爲だ。目下政府は 約一千萬元の軍政費の不足 を來してゐる。財政雲局は を來してゐる。財政雲局は を來してゐる。財政雲局は を來してゐる。財政雲局は を來して思るが之では毎月 多額の不足さなつて行くに

切拔策を講じたがごさて富上の淘汰は出來ない情態に

少を闘る外無いさ思つて居理は日下の處軍費の支出滅率の切扱策で根本的財政整

制をなしてゐると、「東京二日韓朝通」減段案に

各府縣に愈よ して勧告させる筈である

思想問題研

此案は農業政策に影響する

究所を設置

神兵隊資

金網潰滅

事件一段落

の支出減少を闘つたが之以降年人員の淘汰を行び政費

數字。

ごに就き細目の協議を行つた 数字。補償金額の算出方法な

希望して居り、近く黒田次官と間はず一雕池田氏の宿任をを問はず一雕池田氏の宿任を観機の日銀参奥後任問題に帰

首相の悲観

のみで會議を開き減段割合の

(東京二日愛國聯) 池田氏辭

回答が問題 ラ 會商

山度側我が要求を認めず 難關に逢着せ

度側が如何なる回答を貸し來の第四回シムラ會商に於て印(東京三日體調達)三日開催 且つ確實な統制實行の保障額に依るこさ等を主張し、 るやに関い外務常局の観測は 税五割さの中間税率を提綿関税は現行七割五分さ

印棉不質の解决を要求し 肥度に出るこさは想像し を促す方針に决定した

仲秋を如何

•

切抜けるか?

り關係電局の技術官。事務官 と一應中止し更に午後一時よ を一應中止し更に午後一時よ を一應中止し更に午後一時よ

藏相池田氏の 留任を希望

様である

南京政府財政極度に行詰る

を卒直に認めぬ限り交渉は劈 ないものき観られ不買問邸に ないものき観られ不買問邸に を卒直に認めぬ限り交渉は劈 世に富業者の利害臨係から割 で日印解決を無視蹂躪せる印度の 不法に耐し、認民の懸情が激 で日印解決を強要する能は此問題は で日印解決を強要する能は此問題は で日の解決を強要する能はから割 に解決を強要する能はから割 に解決を強要する能はから割 に解決を強要する能はかきの たる保障を與へぬ限り富業者

田野し印度統治上に悪影響を に際し印度統治上に悪影響を は、ないて商的利益のみを追及し をはいて商的利益のみを追及し をはいて商的利益のみを追及し をはっましても をはいて商的利益のみを追及し

會議)は十一月開催の筈であったが、北支動亂の末だ全く のたが、北支動亂の末だ全く がらず國門排匪工作も終つて あないので來年一月迄延期す 民國世四年三月に延期した 一月に延期

中國五全大會

減段割合

補償金額の質

异出方法等協議

条聯合審議會

でなければ非常に困難であり、以外に對策がないで爲すのと気がないで爲すの

人絹三代表 ムラ會職の

で五日神戸を出發することで五日神戸を出發することで五日神戸を出發することに決定鹿島丸四郎。富業者代表小野三郎。 五日神戶發

野より外務省に選した報告に まれば、米國この借款のため 支那産の小麥の下落による損害は七億八千萬元に遂する由 で天津の西務會は南京政府に 億八千萬元

安那小麥の 下落損害七

即電報を發したき

居國

を模様である。

人事往來

鹽の强制的

□人均經次即氏(編束廳等務

御新先當▲新新新 ●新新新 | 11150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 12150 | 1

場所 寛城子ポルド、ノーワ女史 教師佛英學匹卒第

ノーワ家

御相談の上

英、佛、露語教授

「東京二日磯幽幽」東京帝國 一日付左の如く競令された 一日付左の如く競令された 一日付左の如く競令された

佐願法學部長 帝大教授男爵 穂積 重遠 帝大教授男爵 穂積 重遠

水先案内は 同港の軍事

外國船舶浦鹽入港に水先案内が去ら八月二十六日酸表したがまら八月二十六日酸表した 施設の爲か

两外經濟

▲銀塊及爲替

しつつあるためさ云はれて居 強制は同港つに軍事施設をな クワで折衝を進めて居る。右 除外辨法を與へるやう死渉し しで來たのだから同地官憲に しで來たのだから同地官憲に アス米米米孟組同倫教 オナチ支日英賞員の教 相ゴー島は高銀銀銀 ンルを替替塊鬼限 タ株 株

生徒募集廣告

先三二一<u></u> 土土 富 月月月月月 限限限限限限限

陸軍當局

案につき意見の交換を行った 一、東京二日酸の頭」作付段別 が、大学では、一、大学をでは、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学では、一、大学を行うない。

意向を表明 滅段反對の

後の進展は豫恩不可能の模 動者の精神的影響も考慮す 動者の精神的影響も考慮す を論するのは危険で最村勞

問題さなし、目下研究を行つ問題さなってるる米穀減改問問題さなってるる米穀減改問問題となっている。 七五三一十十現 ▲月月月月月 ◆ 上限限限限 ◆ 米

▲上海 日 本向

QQ 神戸豆粕 三完 三完

第一回 二月月限限

第三回 第二回

本上海倫敦向 全上海倫敦向 全上海和育向 全上海和育向 全上海和育向 一志》片二分一 一志》片二分一 一古三日限 一古三十八十分一 一十十二十七一限 一十十二十七一限 一十十二十七一限 一十十二十七一限 爲國青

洋 柳田

二一<u>二</u>十段 月月月月月 限限限 **三六三三三四** 元三九〇九三

新京日日新闻社

右ノ外詳細ハ本校二郎・承合スヘシ

新京實業補習學校

試験部日及場所 十月二十二日(日)本校ペニテケラ順書締切十月二十日(用紙本校ニアリ) と イブライター講習生募集 電話 公衆 二〇二二

へぬ美味をお試し下さいの折叉御楽客の折には是非一 度他に味の折叉御楽客の折には是非一 度他に味 洋 食●和 二條橋

申込は二十九名様它飼引受け致します簡單に安價にて御食事が召されますの 目丁三町樂水 新しく生れた皆様のホー ホール食堂では 御食事が召されます問御宴會の即

豆豆

三至

樂軒

二一十二十 現 月月月 月 物 限限限

問

題

(日

水)

澤田代表は右腊上政府の訓令 確實なる筋への情報に依れば

る出席異常な緊張を呈したか ムラ曾商は商務長官ボーア氏

卅日のシ

臓を加へみであっう 配を加へみであっう の監を加へみであっう

右に関し係科は語る

等が决定した日支外交對策並

重大提議を爲す

至つたのも全く財政行結りの ・ 水く滞つて居る政府職員の 権給調達が主な目的であるこ ではれ昨日の宋子文私邸に於 ではれ昨日の宋子文私邸に於 ではれ昨日の宋子文私邸に於 ではれずる。

時回後開かれた第三次鷹山曾 本時任を俟つて南京政府の料 が平時任を俟つて南京政府の料 が平時任を俟つて南京政府の料 が 平時任を俟つて南京政府の料 が 平時任を俟つて南京政府の料 が 1000円 10

たライヒマン博士は11日正午後助のため帰盟から派遣されて上海11日麓城通〕支那技術

高課長。檢察官等で組織する事、其他學者、管察部長、特察部長、特別の基本、管察部長、特別の基本生徒主

事明瞭さなり前田は安田同様

出安高引

二一<u>十</u>共現 月月月月初 限限限限限

明四日は仲秋節につき滅洲人職工慰安

のため恒例により五日附夕朝刊とも

ライヒマン來滬

「東京三日級國連」シンパ事件で收容中の安田中佐は檢事 株たる前田に三萬圓以上の金 株たる前田に三萬圓以上の金 を提供した事實を認め、その 金は松屋前重役内職彦一が秘 を出はその旨を含んで前田に 安田はその旨を含んで前田に

で常地に到着した

に基づき左の如き重大協議を

聞

澤田代表

調に終れば半累外交権乃至自

世界の視聴を集めてゐるが。世界の視聴を集めてゐるが。

黄郛の北平歸任で

南京政府の對支政策落着かん

要性を持つに止まらず、 英帝 総業協議會の動唱戦さして重 おる日中綿

野湾問題に止まらず。更に英本國ご印度ごの今後の動向を はこり重大な政治的意味を有 り英本國と印度ごの今後の動向を は一年の間は今次の會面によ り英本國との間は今次の會面によ り英本國との間と成功に導 他に親し有利な前例を作る事 でなり英本國に對する從來の 主張を一層有力ならしむる結 果ごなるが、こに反し変渉不

誤解を一掃せよ

認識せられ度く日本さして いて印度側に於て此事質を いて印度側に於て此事質を ある ので印度側に於て此事質を ある 最も年額十二億平方碼ささられ度し、又綿布の輸出數の改正前たる五割に引下け 以て満足する以て満足するというでは此言籍を成功に導く低互 綿布に於ては印度側翻税

正しき認識を以て

ここは我方の反対する頃では、総布以外の人絹を始め雑

一米四 一 今次の海軍 でを容易ならしめるものさ謂 なべきである。然るに米國に とて真に日本の攻撃を恐れる さすれば其の愚や笑ふべきで ある、日本の海軍計畫は攻撃 ある、日本の海軍計畫は攻撃 なつた日本の大陸政策を恐れる 易に武力に訴へるこさはないにはないのは、一人はの結果戦争の危険がある

が日本の恐れるのは無評論

海軍大佐 一大人 一 衝突を激動 一 大人 一 衝突を激動 であって、 之は で の であって、 之は で の であって、 とは

(下) であるのみならず 用網民用互の感じつしある恐怖心を徒らの感じつしある恐怖心を徒らの感じつしある恐怖心を徒ら 唯断つて置かなくてならぬの

日本 出來得る文明上を議员し亞細亞の評酌的征服を試みようごする」もの征服を試みようごする」もの征服を試みようごする」ものではなく亞細亞大陸に於て東洋平和維持の伴侶を得ようごまる以外何等領土的野心を持たないここである。日本は建成の精神に源を使した東洋平和の維持ご云ム由緒の深い認

様な對日態度に常に油を注ぎつくあるのであるからして、 吾人さしては常住不断最悪の場合に備へなくてはならぬ、 場合に備へなくてはならぬ、 最れ即ち今回我與軍が第二次 「完」

であるのみならず南辺氏和互に米部が沿岸防備で稱して施に米部が沿岸防備で稱して施

刊致します

が、緒外観の斯様な態度は常心理程諒解し難いものはなり

こさを忘れてはならね さ謀略さが きばいまか

大は新くするここは出来ない、吾人は新くするここは出来ない、吾人は新くするここが でもあり、 一大心以 でもあり、 一大心以 でもあり、 一大心以 でもあり、 でも排除して唯勇住邁進する でも排除して唯勇住邁進する のみである、吾人を以て観れば新様な機能な日本を疑つたり恐れたり思んだりする者の い理程諒解し難いものはなり

「東京二日藤國州」農村電面の緊急問題たる米價對策に開 の緊急問題たる米價對策に開 の米穀對策を米事質に達する の米穀對策を米事質に達する で結境期米價引上策を如何に するかに購しては統制法處定 の最低米價を大体二十五圓以 上に决すべきを明待するさ共

政友の 對米價對策 が一事に潰滅。事件は最早一種格が明瞭さなりその資金網の時に神兵隊率兵資金の出た同時に神兵隊率兵資金の出た 段落さなつた

に対し朝同二十一名政族九名 改進の侍果國氏同志曾紹興多 改進の侍果國氏同志曾紹興多 改選の結果 國同絕對多數

第1回 各地市場

大 大阪株式

下宿屋組合御指定 飲食店組合御指定

×

10310

至100

二一二二十段 月月月月份 限限限限

育安良優証保質粉精粉味調級

★大連煙

東。堪 I 造 製 係方面さも打合せをする。源京中

裏に引火したものである

出品申込期

十月

でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。

主

新京日日

女給の家出

なつた、建物は二階建で十

の考では行くまいから先輩

さ思ふ、陽東殿都察官の

北職交渉ご

室町小學校

增築竣工

から椅子をながめて居たのつさめた関係上隣りの部屋

もあた体の見當丈けは 雙つてるるのだから

さも懸命の練習を織けてゐる とも懸命の練習を織けてゐるでれ論各校 なのでれ論各校

して海軍県被設立の運びさなった結果。明年度豫算に対上

命泉頭霧助役

東八條通の

煖房器具展

覽

會

祝町

西本願寺境

內

佐美止安

H

菊川路太郎

在柳喜代于

14年1

日本發聲映畵社作製

もの云わぬ花

十七日『好像』

三日間

等。保安、静務三十年許りいから分らぬが、自分は高 いから分らぬが、自分は高な

名校さも三十名程の選手集り その日室町小學校々庭で前記

この磐が漸く高まつて來た。 単校を段置するに決し。先月 中旬王軍政部次長はハルピン に赴き敷地其他に関し立防艦

並に海軍學校等を設置すべし上甚だ不完分なので海防艦隊

新京鐵道事務所は一日附を以

命研京鐵事務所旅客**桥**

三日同國駐日大使を通じて申

で の形(二死藻蘗)で単行さ の形(二死藻蘗)で単行さ

石長野ポックスに入つたが

楠置成

があつたが二日午後三時二十

博技師長

デイアー

新京藏道事務所貨物係

植木

て經

物化

實の

驗發

供優し秀

口

る現狀で之れのみにては國防 も同艦隊は大部分等朽艦で近

新京鐵道事務所

であり、最も時宜の催しこしであり、最も時宜の催しこしてあり、其の盛况を準想を合れて居るが前記趣意により流げ、堅實各種数十の大小優房ストーブ類を一堂に集め各希望者自由の選定を乞ふ譚

女鳥人イルズ嬢 (東京三日春國通) 七月中旬シベリア經由再度訪問保行計 也を静設した佛國女流飛行家 也に南方コースをごり來る 三日頃バリを出破し前回同様 印度、支那を經由して山東省

| 相田野球第二回戦は昨日夕間 (東京二日麓副祖) 京教對早

2 は 1 日本

マムラ

所員異動

隊を保有するに過ぎず。しか 爾州國では現在僅かに江防艦

数室が轉を行ふさ 動・二、13日中に生徒の新 数室が轉を行ふさ

商長の椅子の坐り心地さい がよったこさがある、 音粉 かまのである、 自分は昭 かまのである、 自分は昭 かまのである、 自分は昭 かまのである、 自分は昭 かまのである、 自分は昭

十月三日は金羅洲体育デーに 中間の雨天のため中止さなつた を行ふこさになってるたが悪を行ふこさになってるたが悪を行ふこさになってるたが悪

滿洲

國海軍學校

明年度豫算で設立

境内に於て開催することと 五日より三日間祝町西本願

瞬者の利益を計るが爲來る十

寺

立教勝つ

日 (木) 新京 五、〇〇子供の時間 五、〇〇子供の時間 ニュース

もめた早立

具製作販賣兩者の希望により

で三十三の死体を收容したが 「熊本二日菱國通」 幸運丸遺

(横須賀二日登 ※通)午前八 「概二機は午後二時、無事舞時五分羅津出發の日滿 郷絡飛

滿洲

死体收容

卅二名の

五十位が行方不明か

關東廳警官の満洲國入りは

体に順調だ

新任大場警務局長來京談

取りこなるである)

体育研究會

五日室町校で

本は今は亡き故人を偲ぶ新なたは今は亡き故人を偲ぶ新なた。 一部である終づ、競評の解しなれた。 に悲しくい。同談長佐願中佐以 下戦友の燒香の後、来賓の燒 香がある終つて、同十時より 格納庫内に陳列された重響場 をはつれた重響場 名の慰鑁祭は霖雨降りしぶくの武動を樹てた新京駐剳飛行の武動を樹てた新京駐剳飛行 二日午前九時から寛城子同僚 しめやかに 品を参観に供し、参観者一同品を参観に供し、参観者一同は、除員の説明により吾等が空の護りを詳細参観したが、空の護りを詳細参観したが、空の護りを詳細参観したが、本の軽快なる世界一の機能をその軽快なる世界一の機能を登弾して。機種逆剰会上昇、急

下降の高等飛行を演じ並居る

1 一同正午盛會裡に散會した 行除への力强き信頼を拘まつ 工炸烈する爆弾の偉力に音飛 陸軍一等軍醫 航空兵大尉 宇 航空兵上等兵 航空兵曹長 殉職者氏名 宇都宮主一郎伊橋脩次郎 古井 正 京 京 京 知 一 京 原 栗原弘之 清水總一 大谷二代吉 福島正夫

の端八側の評価は變更する能はずご撃明するご同時に北鐵 の端八機關に局負拘留の實行 の報人機關に局負拘留の實行 が開始的性質は前例なしご述でて あるる

古

北域従業員拘留事件に動す 釋放を要求

湖を代行するは盎然にして、 満人次長が事紋ある科曼の事 満人次長が事紋ある科曼の事 観交渉の情報 さして、「ソコ き一蹴したが、外観新聞は北後任を任命するは不當なり」

あるが、一方スラブッキー網 が認の措置を暴落せるものさ 看做してみ、」 1 億へ在哈外 もそれを信じてゐる模様で より焚附の容易、清潔等各種庭に於て如何なる煖房具を締をに於て如何なる煖房具を締

十五日より三日

日間

西本願寺境

内に開催

的行為である』を断じ、又他 精核局員の日端階級への忠動 を核局員の日端階級への忠動 の成業及北線奪取の目的を **設窓なるこさは哈市岳住者に** 事件は凡て大橋顕洲側代表の 例なき行動」を関し、「今回の断聞は、「大精満州全権の前 席に就き 「ルーディ局長任命席に就き「ルーディ局長任命 の目的であるさ指摘してるる。相関などのここは東支奪取に目下の拘留局員の犯罪事實に目下の拘留局員の犯罪事實 又識洲側の汽車科次長は科 留意すべき事柄である、此處講別に於ては各家庭共に最も 類の器具良否によつて其の優 に約半歳を煖房設備に俟つ我 劣が决定せらるるるので、殊 に於て本社は讀者諸賢及經房

戯拘留局員の 共本三名で現在のきころでは の立観口たる南新京輝はいよ く一日より業務の開始を行 つたが初日の弾降客は乗車十 行名、降車五名二日は興降車 共本三名で現在のきころでは 京圖四洮兩線

並会務を帶びて旅行する軍人の連絡客で社線で運賃の割引の連絡客で社線で運賃の割引 滿鐵同樣 割引き 煖房具展 河へ劉某な紹介した王某々召、例集は日下田舎に歸り居り大人劉某から受取つたもので、 「天津二、日映國通」最近大連流洲銀行 で朝鮮 銀行 養行の 五十銭 紙 幣の 贋造 が養見され其系統調査の結果。 天津方面から入り込んだ形跡あり。 雷地總領事館蜂祭では渦日楽 大活動を付けて居るがお紙幣 は天津日本租界蓬萊街大河某 が自轉車質却代金さして支那 覽

谷本ウメ(11七)假名は去るIII 響に取押へ方の手配があつた跡があるため奉天署から新京 巉最近新京に潜伏してゐる形十日無断家出し行方不明中の ・ 単校の教職員及事生(単生はご等に限る)は社場生はご等に限る)は社場生はご等に限る)は社場をはごの教職員及事生(単生はご等に限る)は社場をはごの教育の教験に対しては所定割

漁各等共日割引

南新京驛

開驛後の成

五十錢紙幣 込む 大連へ流

元を拐帶逃走行衛不明さなつに現金二十萬八千三百九十一 |行金庫係楊必達(三三)とは去||東京二日發國通] | 廣東省立 帶日本へ逃走

新京後、八、四五 ニュース 東京中央改造局編輯 スニース

ゐるさの情報に接し同地警察 依頼して來た。 静蔵廳では管から二日警視廳に取押へ方を

二十余萬圓を拐

たが右犯人を取押へたもの轄各署並に全國警察に手配

院み極力取調中である 大々的に製造されたものさは専門的技術者の手に依つ る精巧価まるもので、 雷局銀で鑑定を受けたさ解して 四十五枚は大河某が

で十月十五日頃新醫院に移轉十八番地の醫院が落成したの

素を親けるさ

五、五〇二二

朝鲜

H

夠經來上

知識眼科院

五味。黑田、佐藤

部、黒田實、佐藤宇治太郎の 三氏は三日相前後して木社來 訪、それん「常選の挨拶を述

東京後 大。〇〇 二二十 天東京伊央放養局編輯新京後 大。110 語學講座(清洲語) 講師植公金技(日本語) 講師

マフテレフテル

田吟味堂

廣東省立銀

和で新菜中であつた大和浦大地に開業中の知識吉彦氏はた 地に開業中の知識吉彦氏はた 地に開業中の知識吉彦氏はた

名優早川雪洲主演の *!!*-楠公父子

また各派出

貸家 四十四 姓名在社

九,00 演

三拍子揃った電氣寫眞館で!!

安くてー 美しいー

吉野町二丁日(甘栗太郎橫)

双美寫眞

御寫眞なら

主演のJ〇式オールトーキー 大興行で観察的名籍早川雪洲 本案襲撃映畵社第一回作品

唱歌忘るべからざる楠公父子 **郊の美はしい権化である此**譚 「楠公父子」を上掛する、 想混沌たる現世に對して 別は忠勇武烈の結晶。大和 添入 納者一人もなし、また各派出二票の誤りで新銀浦銀には滯

は左の如き 云はぬ花ならびにサウンド ゲンペッ

會

_

高きやき

專 門

撮影技

脚色

下手配中である
れ一条の対象を表現の指示力につき目

幸運丸遭難

日滿聯絡飛行艇

出前

焼まんぢう

(滿が語) (滿が語) 五四〇 五、五〇 T, EO 五〇八水

々含む)の誤りにつきいづれ所さあるは各所(各語店なき

御知らせの當め御試食の

方に記念品を呈します二日

より八日まで(一週間)

お知らせ

千供の時間 一、神野みに應じ料理は何んでも出事分ないつもりでありました。 神野ないつもりであります。 神野ないつもりであります。 神野ないつもりであります。 神野ないつもりであります。 一、流洲崎も生れて二歳になりまして一、元祗園さして永く世話になりまして今度お客様の御望みで一つのお客様の御望みで

◇一品料理に 良い酒が

月

御來客様に粗品進呈 どうぞ一度お試し下さ 安く飲めます 電話二九七三番 角目丁三町祝

見よ 光榮に輝く 國寳的大名篇

監原作…渡 太秦發聲映 畵、文部 富 總指揮…… 池永浩久省推薦、各學校御後援

賜臺覽 名優 早川雪洲 主演

の榮光あり敢へて同胞八千萬の前に捧ぐ此の父を見よ此の子を見よ!東海日出づる 榎本 寅 藏 所此 錢十八 錢十四 錢十二 人人生人大軍等小 開

ゲンベツク

サウンドビクトリアル

就に否やはございません

観光にその歌 悟さへあり

送りが賑やかなら、常人の分配ひ

二部ひは粘しくつても、

何うも済みません」

けやせん

新

いかさま其歯もありますな。で

の事して人の物質ひになつても可 ア、もう素人のタよの好だ。 似版にはなりやせう。 大門を出て了や 取行きに任せるまでの事でさて」「「くこにも行きやすめえ。そりや

非常に樂観してゐる唐大の言葉

かね

『五人ぢやア危なかアありません

形心の路に、避ひの若い者は腕つ

好

質宜傳ノタメ特定 **御晚酌 二 御宴會**

特價一

偏ニ御鞭ヒ

が三浦屋さん。

途中特仗せがあ

間心配は無理もねえ事だ。 聞くと事もなげに答へた。

割った様な氣の膨大は。こ

を出る時は、

駕籠に乗つ て大淀

席に就いて買ひます。それから解

御料理

月

全滿酒造

清優酒等

電話 二七八四番

が、伸之町の開御へ一々挟拶をす

別手茶屋を始め、

して・喧嘩支度で大炭を連れて

送る。それから大門で手を打つて

お別れといふ殴取りです」

ひたから、蛇は椒らいつても臓は

大陸も身配

三編屋は瀬足して除っ

能力支張以

を情

一締

り二周まで

た。何れ事が段階いたら、 「根つからお隣ひ申しやせんでし

際兵衛はニコノ

(映議) 長 信

脱機の方は、公用人の相川さんに日もお知らせしたやらに、青山の 三浦屋四郎左衞門は、瀬草薫鳥の機密の闕隣(五十五) といいので来ました。就て の唐大権兵衛方を訪れた。 つて來ない所を見ると。何か版 投親分、意々大院の引献ひも明 お願み申しやする

と思ひます。四谷大番町の白棚の方に、考へがあるんぢやない 武者ばかり集つまつてゐる。そ 行伏せして横取りしないもの は第てお送りの仕着せに、金一封焼其外税及へ出入りの者渡らずへ 出し、引き物を持たせて一同を立 をして後、三浦屋中の者へ祝儀をの亭主を呼び、臓に着かせて挨拶 見分表の迎ひも、少し早日にお客 ふ動向になって居ります。 たせる。其時大党が素人姿になっ 『エ、承知してゐます。縣妓太敬 して吃驚させると

の仲間に入つてゐる

それでねえと他を始め死んだ親分に、成るべく歴美にして下せえ。 腕中の者に笑はれねえやう 家の職だ。何らか其後りで宜しくひをさせたとあつては、帰院院一 際にも係はる事だ。唐大が花記

均整を得て幸運を辿る吉日 **して大成功を来たすべし** 勇氣挫けて立 構力を金力さ

でも無功に終らんさすろ日 深れば損害身に及ばんの人 利を以て誘はれ なる日叉病盗雕注意 如何に氣力を住

サービス萬点リ

ール美給り

襖專門

梅ケ枝町四丁目十四番地

電話三三四一番

| 大阪商船出帆

※しあさる 丸 十月 八日 がいかる丸 十月 五日 ばいかる丸 十月 五日 がかる丸 十月 五日 香 × はる ぴん 丸 れこま丸 丸 亞米利加丸 十九日日

類各種

富

十月十二日十月十二日

切符發賣所

新京梅ヶ枝町二丁目二 香部廠

理 道 下番

佛癸水

内 科 に 島 隆 院 神經科 電話二九五八番 電話二九五八番 電話二九五八番

して事業半ばに瓦解すべし

せば挫折あり又病厄に注意

大志を貫かんさ

りを過ぎて悪化する兆注意

運氣住なれご盛

朝電 事四 領八 通三 日話 舘四

目科業營

北施設 工木 測監製請建

和

店主

電話四七九O番 古村元七郎

國政府指定請負人

新新室町二丁目九番地

司

御

料

理

會

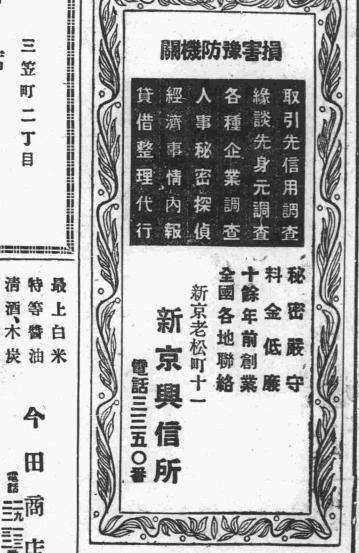
三笠町二丁目

4

十點中最高優等賞ノ榮冠ヲ頂キマシタ芳醇アカシヤ正宗品關東州酒造組合主催第十五回清酒品評會ニ於テ出品清酒四 ニ滿洲第一ノ銘酒トシテ皆様ノ御愛飲御用 界ノ代表 買致シマス チ養ごと 米ミ酒 ⇒ (瓶代典) īō 新京富士町二丁目 リ命ジタ 着 西 三 圓五十錢 一圓五十錢 四升五合入 正宗 電話二六〇一番 行 最上電 値段は大勉强致します 多量着荷致して居ります 御下命を……祝町ララ市 松井電氣商會 水各種







中华八昭和

電報料

高過ぎる

會

社

拓務省近く改訂を提議せん

げ運動奏効す

滿鐵間意見

IJ

I

含其の希察通の崩壊でも共同 意に賛成し三日重役會闘を開 海外發展協會代表ドリヴィエ(大連三日發越通)フランス 氏は來連以來滿鐵山崎理事き

計决定した。右に就会軍部で 5企業會駐を設立する事に方 氏は語る 図大學教授鈴木醇氏は、「大連三日縁國唯」北

もい丸」で來連 本日替帝

ある 北大鈴木教授 地質調

歸京一泊 新灰視察

地質岩石を調査したいさ思地質岩石を調査したいさ思

滯滿日程 に進み移植後は氣温高く旱天調なりしを以て苗の成育良好

吉林に向ひ一泊

メルビンに向ひ! [日間

内地過剩米捌け口を

海外市場に求む

米穀部長通商局長と協議

記の如き収穫を観るべき像想

苗代時期に於る天候概して暗加を示す。蓋心本年の稻作は

蒙古人留日學生

定であるが看京後の行動は左 三十分「ハト」號で來京の豫 三十分「ハト」號で來京の豫 別の減少したるにも拘らず前 候も概して適順にして作付段成育速能せられ具後に於る気 ありたるも其の地方では稻の 持續せる営一部地方では早害

七の知し

拓務省の認可を得て 企業會社設置せん 貴族院視察團

が私は地質學が専攻 に來滿 なので

中一日 端京即日奉天に向ひ 一泊の上奉山段で山海鞴野

るので尚時日を要する母様で磷酸では拓扬省の認可を要す 米作减段案 陸軍では

通商局長を訪問。過剩內處於 部長は昨日午後六時來柄外務

電な港さの間に定明航路が崩進した。 所要時間は十七郎間であるが勝来は清津、福港さ連絡すべく、若し右二

らかに笑ひのコーラスを取つさ大学で叫び係員も観常も朗

百の飛行機は木葉微塵にやつ・け得る」

要幹線さなるであらう始される晩は、日浦連絡の重

垂直して上昇するさ、見物の大持て、糠陸さ同時に機曽を

監禁中の將校團

革命軍ミ

「あれだよ、幼

別け口の気め附外市場開拓に

では一ケ月後の今日早くも之が改正の安當なるを認め拓務省では遞信當局と折衝のされたが、總括的に見て高過ぎるので其後一般需用者の非難續出し拓務、遞信兩省(東京三日發國通)日滿兩國間の電報料金は過日滿洲電信電話會社設立に伴ひ改正

ことになつだ上近く日滿通信協定改訂を滿洲國政府に提唱し極力需用者の望に副ふやう努力する

ことになっ

國防上の目 陸州 で反對意見開陳 元地から

必要のこさであり、

總動員の場合に於ける資源 地から絶對反對の

されたタンアリース。倉田南米者の最初の會見さして注目 會見日延 結果に基き荒木陸相は近く 究調査せしめてるるので右

みつかぬ模様 氏の會見は二日の豫定であ は何日になるか見込

聞

印度側晩くも五日

旨一日澤田代表より外務省に

報告があつた

一定数量自主的輸出網際集に和七年度輸出量を基礎さするの提議せる日本綿布の從價關

すべき

印度側の提案

相切を無視し商質は出來わ 綿布を覆るのも商費だか して困難で印棉を買ふの

へば信花の輸入数量を協 も日本は協定文けの

「東京三日酸蛇通」卅日のシ

日の猶餘を求めたが、本案に對し印度代表は即答を避け数

實行上困難

定であつて、晩くも五日のするのは三日若くは四日の

宮制(クオーター制)に飲い皮側が提翻さ観られる輪人割

て非當業者は左の見解であ

Ь

當の課税方につき請願した

浦潮港の强制水先問題

内部度の領導を要求せしめ、 事代理に則令を發し、水先案 國政府は發に使浦潮次能線派

ソ帰側は離色を示してみせしめたが、今日に発え

別船に特に援制的の水先制度 若しそれが出來ねば我國の定

公司があつた、右は穏

の除外例を殴くるこさの抗

けたもので見られる。

保行機で生と行

なる角度でしまでを本める つ態性を移て上最の省る に変外数密めの近情に

したが質問に動し面白可笑し されて居る杉村陽太郎条便は されて居る杉村陽太郎条便は では、一時より記者圏を では、一時より記者圏を

ター制は質問問

新

表

の提案に

日

順銀に會合し、西原借款平の 高銀の三銀行代表は二8午後 高銀の三銀行代表は二8午後 前銀 新支借款

利益配常を擔保さし確保するお日禰電信電話會社の株券のお用い時果、満洲國が所有する日禰電信電話會社の株券の

日

京

満洲國の所有株配當を充當

融通銀行團から折衝せん

日印當業者代表

部擔保

依れば棉麥借款の爲支那産小命慶大學農業經濟部の最表に 麥下落に依ろ損害は七億八千

棉麥借欵に依

は米業工會の申請に基合南京萬元に達した爲め同地商務會 部並に政業方面に多々異論あ「東京三日麓図址」米作派段

に至らぬ狀態で其の

れるに至

米作減段案各方面に異論あり

で有して居り米級減段に對した分の方領

有するものさし其の取役ひに ものであり性質上重大激戦を ものであり性質上重大激戦を ものであり性質上重大激戦を り乗つた増産計畫を放棄する 五千六百八十石にして之を前想を確高は六千五百六十七萬 減少せり、右は主きして用水千三百七十八町(一分四厘)を の結果等に依るものを如し、 作、耕地の改慶調査方法改正不足の質の作付不能に依る轉

でかソリン代用品の燃料さしてがソリン代用品の燃料さして米酸防上の見地から過剰米初さして貯めまるが米製アルコールさして対ツリンパールでした。
を解決して米酸の統制を殴る に観覧を等へるやうでは調策 の根本に反するものであ 及為恐慌 ご見て帰めて氣樂灘な態度を である。 ひないが未だその時期でない ひないが未だその時期でない のないが未だその時期でない のないが未だその時期でない のないが未だその時期でない なき 匙を投げてるる態である

八分八厘の 增收豫想

「東京!!日發調明」 農林省酸 作付段別に比すれば、四萬五

新京、圖們江間 一日から 毎日一往復

京、副們江間毎日一往復列車京、副們江間毎日一往復列車京、副們江間毎日一往復列車京、高州江間毎日一往復列車

に反し

寒さを忘れて大喜びに見入つ○○降の慰霊祭を無事終了し○○降の慰霊祭を無事終了し時秋の細雨の中で新京飛行○

の前に立つやの前に立つや つさへあれば支那の百や二

執るに至り、破段案の前途に 「東京三日夢國通」練習艦隊 関助は三日左の如く决定替表 された

報軍中將 寺島 健

補單令部出仕 編單令部出仕 編單中將 松下 元 編單中將 松下 元 編單中將 松下 元 編單一航空戰隊問令官 編單前統空戰隊問令官 廣軍前統空戰隊司令官 廣軍前統空戰隊司令官 廣軍前統空戰隊司令官 廣軍前統空戰隊司令官 廣軍前統空戰隊司令官 廣軍前統空戰隊司令官 廣東新紀本郡技術部長 海軍中將 佐藤三郎 海軍中將 佐藤三郎

十名餘であるが、民留米人一に達した、兩軍の死傷者は二交戦は午前八時に到り最高潮 名は殺害された

爆撃演習の

新京駐剳闢東軍飛行第十二〇 総は既報の頭り戦光者慰歴祭 総構三合、戦闘機九台の戦闘 場機三合、戦闘機九台の戦闘 に新兵器供電説明、重 を育者に新兵器供電説明、重 除員の挨拶、釆賓を代表して行鍋の饗應があつたが、佐籐

あり同氏の音頭で飛行弟十二四月郷軍聯合分會長の謝辭が 私共は誠が兇 に直接手をせん。一番心配したのは常 動の取調べに際して、誠が虧い吃りの爲、口で意思表 原出來ぬ場合手を挙げて兇行に干與したのではないか き云ふ常識的な解釋から係

然知りません。大連には事云ふ人も管柳で云ふ人も管 件が落着するまで滯在した然知りません。大連には事

||三日の氣温最高十一度八級低大度二。四日の天氣南東の風

明ノ関係上昭和八年十月十五明ノ関係上昭和八年十月十五

生花講習

より、日本固有の軽道を滿の 根本氏が來京

四日は臨時休利

不承認連中は 今に後悔する

満洲國の將來は樂しみだ

?"四十六百八千三

主と慰霊

下

杉村公使朗かに語る

「東京三日登園通」ソヴィエート政府は去る八日世六日空 知河渤港に入港する外國船舶は水先案内を強制のに は水先案内を強制的に と、元素浦潮港は水先案内を 必至する程船舶の出入頻繁で なく、又共國の北岸汽船、朝 が野船、北日本汽船可社の三 社は久しい間水先人無しで定 が野船、北日本汽船可社の三 はな久しい間水先人無しで定 が野船、北日本汽船可社の三 はなり、今回の規則に依

個 おいし 地段的で非常に力強を まるで R 突毫の上をすべつ に は まるで R 突毫の上をすべつ で は 日 市 長 に 會 つたが、 あ を 現へ 6 れた 一人で す 年 は と 乗へ 6 れた 一人で す 年 は

リ人さいよのは非常に大陸 いですな、こいよのはアメリ かですな、こいよのはアメリ かですな、こいよのはアメリ

本者はあの大陸的な建設事で不者はあの大陸的な建設事で不要で行来が楽しみです了度聯盟で承認の票決が行はれた時。大体三分ノニは大勢順應の意向もしかつた機ですが。強硬に不承認で操設つた連中も、1111年もすれば後悔するに違ひない先生達も日本が不承認で帰足のた連中も、1111年もずれば後悔するに違ひない

るが、同地には三四日滞在の の氏は五日季天に向け出産す のたは五日季天に向け出産す 居なかつたらしい 十人に决定す

菱刈全權が

における日禄人定庭に普及のため同院講師根本如冬氏が成ため同院講師根本如冬氏が成は來る十二日午前九時四十五日本京、直ちに滿河産花奔利用生花飜減を地方事務時主催

發聲映寫機贈呈

及中を通じて 淳執政に健学 にフォックス作製の講洲政治 にフォックス作製の講洲政治 である 交前を通じて 海執政に襲撃 菱刈金槽大使は去る廿六日外 實習をなし同夜十時奉天へ向 底花奔を材料さして生け方の 底花奔を材料さして生け方の け出館の豫定 駒井土地主任

野のため本社*訪 野のため本社*訪

徳川、杉村兩公使

を官邸に招守し晩経會を催し を官邸に招守し晩経會を催し

が晩餐會

深町博士 可に正

見玉博士の

實兄從弟來連

い」丸で柴連したが、南氏を 衛の兩氏は事件の報に驚いて 高の兩氏は事件の報に驚いて 気を見て真遺、従弟見玉彦 教室に勤務したが十一年八月同大學助手さなり同法斷陽部 **式開**黎

ました。こんな大それた事

色を浮べて語る

船中に訪へば蒼白な顔に心痛 た切りです。私共が事件を一月長野に帰省した時會つ りません誠夫婦さは昨年十をして世間を騒がし申降り 醫事の補威である目下新京州 醫事の補威である目下新京州 警博の単位を得た、のも大學 登博の単位を得た、のも大學 醫さして勤務してゐる

段間機関銃の音がパラペラト

撃が跨むさあばよ

りて來た時は「わしがやられ

るるので能く御護申上け度 話になり、御心配を懸けて 話になり、御心配を懸けて 八日長野を立つて來ました 今度の事件では衛生研究所 前九時奉天へ 事往來

い出來れば誠さら曾ひ度い
き思つて居ます 七名午前六時街京智 ▲刑士廉氏(吉曼地區鬱慰田 令)午前九時奉天へ

◆秋山中佐(第四課長)平輸七 ▲京坡公工農業學校生建七十 時別京眷

天氣と氣 温

昭和八年九月二十七日 荒木 章

刊致します 一四日は仲秋節につき瀬洲人職工慰安

の早春移得をなすべくバラフ は萬一の場合を考慮してこれ 上 方事務所で

實現一

さなつた田

は歌回に且つて調査班を派遣をさからした日隣衛生常局でをさからした日隣衛生常局でをはるや極度に神經

スト下火

三名も三日出發した

助手三名、

配門へ新築完成することにな をの跡に引越すこことなり、 近日中に本社の指令を仰いで で、これが移轉を待つて

関内の闘闘細菌協質所が近く

宿泊所は建物二百平方米で宿 治者の定員は犬体變りなく三 十五名である

人を收容

適當に切倒はしてゆせる人を

一相撲

他の中の

しき新京の動向を祭知して 人格職見さもに秀でた人で 誰方 自分は第一

ひ納長に関びたいき思ふ。

轉さき決定

果公園内に引越し

新京高女校長

ぐる一般市民の動向を知るべく、まづ各方両人士の話に聽くし適任者はあるかごうか、またこれき思ふ適任者はあるかごうか、来る正副諸長選卓をおは吾等市民の總窓によつて骸正公平に決せられなければならぬ問題だ。果してその地方委員選舉の後に來るもの……それは誤長、副議長選奉だ、一体議長に誰がなる? 新顔でよい

、格識見の方 はた私の立場からいへば教育 衛生に理解のある人に願ひた の地方委員選撃にぜ 江部開易氏談 候補者を出したい
き思ったの

で全く最初のそれであり、最

それで議長には一体

も重要な意義ある

であり、最

の見事からいつて此ともない して見たり、女母校の傍で皆叫學校の運動場を競馬場に は質にこれがためであった。 を取らすな 一学校 | 歴史があり もよくいふこごだが

つて欲しい、そうして**今後**再 長さして唯だ新らしい人さい びからろこさのないやうに臭 委員さしてもこうした際には 寒心に堪へないこさで、 ふのみでは可けない。舊長春 第二には地方委員會議 もお願ひしたいもので 地方 にしても人格のある公正の人 にしても人格のある公正の人 目に

けるこさは差控へたい、でも意中の人はあるが暫らく申上 いて吳れる人がよい自分には

く引受けては見れないだらう僕の意中の人きいふのは恐ら 新京一のことを考

人さいつても獲長春以來住んであらう。獲長春に理解ある いふ理由はちつさるない。類 でるた人でなければならゆき に來ったのだ、 よく考慮すべき だけは御発を蒙りたい

副議長の方が 寧ろ重要問題 伊東正夫氏談 は単語なごでそれなく暗中飛

地方委員

が何にしても議長問題は自分 るわけにはゆかね、それは市一個の考へでごうこう決定す

6自分さしては、今度の選挙 ものさ思ふが、全市民に一々 ものさ思ふが、全市民に一々

視した。さころに原因はひそん事になってる全くその歴史を無 思ふ、かう見るこ現在の新委 から見るこ現在の新委 員中には立派に適任者はあ

一般はそれ

立派

けが知らないのかも知れないないやうだ。それさも自分だ **人も困るこ思ふ。この意味**

らしい代表者たる今いつた明首都新京には新京さして新

出品申込期日

月十三

B

十月

十七日。祭日曜

三日

に象りたること前の女に見え 瓜の類をさるさあり月餅の月 瓜の類をさるさあり月餅の月

四瓜はその圓含を月にたさへ

5

祝町

四本願寺境內

具

展覽

會

續博物志に

芋以十二千為衛。應月之歐

民間には「八月十五雲遮月、夏珠貝に眞珠の出來ず蕎麥が

可けない、但翻長につづく人

で適任者さして自分個人

にいろく世話して呉れた者 ない、同時に選舉した有權者 の方、即ち飲食店組合その他 の方、即ち飲食店組合その他

揃燃

て經

實濟

物化

實 0

驗發

供優

し秀

ま品

老

の宴に酌むを桂酉さ呼べるななを言ひ傳へたるより看月でなざ言ひ傳へたるより看月中

べりい、斯(仲秋の節智は古く関月をなす時は剛圓節さも呼 人の缺けたるはなく打揃して

新長さ司等ミサトン であるから副議長は諸長を助 が請長が信頼して委せる人。 つものであるから自分は議長副翻長は最も重要な役目を持 でな

の地力委員に無用論があ

宮城君なぞ熱もあり立派な人間議長は鬼もかく頑蹴側には よりも削額長により弱心を排 こなにし人は る社員 是に孟 て三秋さ稱す、

いえません」 さて氣象狀况をすがいまのこころ曇りさしか たの如く語っ

年の七、

とうへよければ副議長なごご 議長は議長の不在の折には長につづく副議長問願だが副

一般は

スト病もいよく、経熄し一名が防疫の徹底を明しつであるが防疫の徹底を明しつである 至らないが未だ樂賦を許さねの患者死亡者をも發見するに 補習學校の 夜學開始さる 十月六日より

疫自さ共に再び出發した。更 も此程全快したので二名の防 中の農安防疫班長腹木彦吉氏 名を洮南に、又病氣の爲歸京 ので二日は東北防疫所長外一 方面の第三回ペスト防疫員 に興安總署門下鄭家屯。開台 看護婦十

このの級に志膨を

仲。秋。名。月 りしが詳かならざれごも漢代 たり、第たその何の世に始ま たり、第たその何の世に始ま 節。千秋節、月夕、民間一般に 之月夕

賦詠不著見於世聞 古人賦詩。則始杜子美。中秋翫月。不知起何時。 而考

豫報は曇り

満洲人では正月に次ぐ盛儀

果して名月の夜の天候はる

水路竪霜雪 、林棲・以利毛轉蓬け即遠 攀桂仰天高端日飛明鏡 婦心折大刀滿日飛明鏡 婦心折大刀

秋の月を賞でも昔から ・風流氣のあるものはこの仲 ・風流気のあるものはこの仲

今でも野に原に一瓢を携へ浮

詩歌に残つてるるまた

兵士ホー

慰問團から

第

四 信(九月廿五日)

い頭洲頭人は八月節で稱し五かれ出るものも尠くはあるま 月の節旬さ同じく商取引の決

時四十分時陽看

のトラックで兵站部に参りま 御承知の如くことは承徳へ行 ても汽車はごせいません。 着闘致しますご直ぐ飛り除 特別なるので眞實に此の旅な 速さで走る、その愉快さは又 ホテルからトラフクまで歩 は見られぬ一風景でごさ

九月廿六日午前三時第××鷹 り致しました一数町を軍部の の凱旋されるのを闢まで御送 技が地を這上様に原側から垂 ルを網照介して載きました ましたが。夜明にも明 クで送つて頂いて行き 其の途中夜明方で でも娘を思り感収苦解なされても娘を思ります。 眞暗闇なので、 に足を取られるやう。 不案内土地であるのに未明で して、私選の戦争ごつこでし 時々種がりかけた

の榮光あり敢へて同胞八千萬の前に捧ぐ

日本發聲映畵社作製

サウントビクトリアル

ハーゲンベツ

왫

此の父を見よ此の子を見よ!東海日出づ

3

H

明

内の雜沓、(下) 食卓を飾る

ふ仲秋節の賑ひ、(上)城

てゐるのがその月餅である鬼

仲秋節の美味珍香

過すのを戦みにしる

はその日を飲。

過して霖雨をみた、殘りの熱河の方に二つの低氣壓が 中、季の三字を冠し 此時際內鬼 直欲數秋毫

四季それくれの眺はあれ秋の中間に営れるを以て中秋 なる此月十五夜の月ばかり明ご。わけて秋天九十日の眞中 夢蜒録に日(八月はこの三 城唐以後宋 いに入り諸家の中 秋月夕を詠ずるもの多く以て 張弓倚蟑魄 氣沈全浦暗 不獨演家營 輪側半樓明 たで八月十五

夜月色、倍明于當時、及謂三秋恰半、故謂之中秋、此 録に見えり とここだ大鷹叢 り、浙泉地方八月十六日をを中秋節さするに一の異例

个

四

B

仲

秋

節

に

付

朗なるはなし、

中秋、相傳南宋史彌遠秉虹中秋、相傳南宋史彌遠秉虹中秋、惟吾浙東以十六日爲中秋節。鴻國 補賞中秋。重判龍船。至今不至則己十六日矣。 乃令民間 観波(今の短艇 い定に 類す 太夫人奉養在都。

鲁

書

間

開

館

至同 五 時

惠

常智には非らず、されば衝東れたる異例にして古今通殿の のこの異例も今は已に改める れたりさいへ

ANJUNA

A

又は家人相集まりて月を配る中秋節の夜は看月會さて親友 に桂酒を的み芋を啖ふな6は 致します上に自働車は可成の

兵站部の方から側電話で都ホして打ち台世を致しまして、 それに雨域の道なのでするの

で果物や月餅の贈答が行はれ なものや世話になつたものな なものや世話になつたものな

る市中赤紙や銀紙の看板に

んに差し上けましたのでそれの側歇間狀を八十名の兵隊さ

列車が動いてゐるにも拘は

人の

6 が方

めし牛徒さん逆にも嬉ばれる

中に E) と外で下さって、 3 は 1 とりに 4 様の ほっとりに 4 様の 性ので下さいました。 真實に 今でも 懐し

ま版領

8

3

映上別特

劇代現

もの云わぬ花

られ、官衙も商賣も悉く業をのうちでも重要なものに敗へ

話致しましたので車輛の轟々

贈りました其の中の一人の年後一時五十分能家屯で九年後一時五十分能家屯で九年銀三十分

され出を時を名数日扣

れへき話に花を咲かせました

じく仲秋の日をめで年中行事は期さしある外。日本人さ同

人さなつたのは午前九

十時四十分程家屯、十一時 北雲子で今までの北票線を

ももつてくればだん く天 気はよくなるわけですが雄 暴が思く」ぶつてゐるか も間違ひのないこころをい も間違ひのないこころをい 新京日日新聞社 して雨で

一つが二日

剝芋。 等有十四種。 多珠。 爲大餅魚月。

無都土既。中秋館道月餅西瓜之屬。名看月曾 廣東新品に桂四を

八月蕊化水至。有月則是歲

語に

三古かり今に及べり。 廣東新日本り、父此日の禮物ごして 供物を留きやかて時至れば家月餅。西瓜、酒きの外種々のし、上には香を點し、幻期に の棹を庭上に据へて祭壇さなけ俗に圓月き呼び此の夜一脚 一同祭壇の前に進み、月を拜長出でて一家の年少者を導き の棹を庭上に据へて祭壇さい俗に圓月ミ呼び此の夜ー

て一家の夫婦子女兄弟なご一ては幼者のみならず一家打揃 に分ち與ふ。家族の少き家に して叩頭す、終れば家長より 境で も丁度地方委員選舉の眞最中に入らんさした。ころ公主競 然も料亭の眞向ひ

前を、 階級がズラリ正装して居並 まさか料亭に入るわ の紳

永久に築しい殿堂さなる事で

器甲軍司令部の T. 某陷下

五日より新 州即の夜を照すこ さしなつた、永樂町の町名の かられている。 1000年 100

が選

身御職行。行きつけの某科享日曜は選舉を外に公主領に單

即小賣 北原紙店

各種印刷を製本印刷機械及材料

ラ(永柴町一丁日十一番地)は水部な6ぬ首都新年に相應し 端さくのひ内地より美給十数愈々階上階下のホール設備方

秋無月の時は翌年の正月十五正月十五雪打燈」さいびて仲

の元宵には降雪ありご信ぜ

ならぬきは又痛いかな ならぬきは又痛いかな ならぬきは又痛いかな ₫. Y F 五日開業 カフェ

に仲秋に月無き時は鬼孕ます して種々の傳説ではれ渡峰錄

所此 錢十八 錢十四 錢十二 人人生人大軍導小 公

寅晴

よ 光榮に輝く國寳的大名篇

太秦發聲映 名優 田邊 透霞亭 總指揮····· 池永浩久畵、文部省推薦、各學校御後援 富霞保亭

賜臺覽 早川雪洲 榎熊 エッチデ 博士

藏 保

第三十九類 第三十八類に屬 第三十九類 第三十八類に屬

紹興酒、日本酒、味淋、白酒

第五十三頃 周松 石炭 コークス

| りょ」新。炭。附木

楠公父子上

會場は長春座

第三十八類 酒類及其の模造解臺。循關、枕、蚊帳、寒語率

馬具、革文一里・総革「きやつ毛皮、柔革・擬革紙、擬革布

念よ今夜

ים

せさら室内装管品

架、石盤、紙綴具、鉛筆削。 第五十二類 皮革、其の模造 第五十二類 皮革、其の模造 並名種の鞄組

組及設身川「ピン」の類第二十六類 被服。手巾、卸

研磨料

商標

法

0

內容

(九)

附り、

同施行細則





日本紙。西洋紙。板紙。壁狀。 る其の製品 紙及伽類に屬せざ

ス、信立袋」オペラパラク、 第四十九類 煙草具及袋物煙管、煙草入、煙管筒、 薄荷 煙管、煙草入、煙管筒、 薄荷

デット」手格、根掛、髪止、脂 形、元結、髱、附髱、入毛、髪 形、元結、髱、附髱、入毛、髪 ボ、髪掛、「リボン」波飾「リ ボン」 歯刷子、 化粧刷子。 埃取刷子等 線、碁、粉棋、人形、獨樂、 弓 線、碁、粉棋、人形、獨樂、 弓

第六十四類

ん」燭心等

造花並刷

及「リボン」の類、造な、足「リボン」の類、造ない。 類

海の外から

四二千七白年前の榛樹 個乙では此の程二千七百年前の榛樹 一が母調され目下県界の珍質 さされてるるが、手當の結果 数量で栽培するここになった 口乙女が訓練する電車台 本車用羊を飼育訓練する電車台 には十九大歳の可憐な乙女。

聞 第四十六類

第四十三類 菓ナを麵 2の類 第四十三類 菓ナを麵 2の類 千菓ナ、素菓ナ、掛ケ物「ビスケット」カステーラ」ビ ドロフブス『アイスクリーム』 給"餅"砂糖漬、炒豆等、 第四十四類 茶、珈珠、「ココ ア」及珈珠人角砂糖の類並 まの唇造品 白砂街 三砂糖「ザラメ」氷

第四十六類 欧乳、其の製品 登物、甘酒、漬物、胡椒等 一段布、荒布、佃煮、味噌、肉類、 越援斬類。 卵。 鰹節 料品及加味品 仙類に層せさる

第六十類 藁、草及他類に屬 第六十類 藁、草及他類に屬 せるち其の製品 前六十一類 麥科量表從席、笠、編、麥 等田真 傘、杖、冠物及其

の……」の唱歌がむせぶ機なメロディで響いて來る——時 ……延元元年——備輸三石の 城を守へ新田義助の軍勢は九 州から都をさして攻め上る逆 賊足利直義の雪霞の如き大軍 科さして最上のものさ認められ内地は文部省より各縣知事和内地は文部省より各縣知事を発生後主観覧することしなったので成はこれ等のため豊山たので成はこれ等のため豊山と映を行ふである。ま (梗账)

牛乳・羊乳、コ

「コンデンスミ

「ラーズ」で

穀菜類、種子

ク」乳粉、「バタ」人造「バ

●三碧の人 人を信頼 甲さ丁さ亥が吉

緑厄注意

がよろし 引上へし

力すれば名利 意に に行はる すべき日

●九紫の人 小さき紙 すれば手術に手間取



イダー」果然「シロップ」来曹遠水、窓村水「ラムチ」「サ

第五十六類 肥料 株。 燐酸肥料、 調合肥料。 硫酸安母尼亞等

「ウルスキ

葡萄酒」シャン

第五十四類 衛士十五類 油脂及 金蠟。蠟燭

菜子油、魚油、咖 蜜蠟。蠟燭等

默 類 脂

東海日出るこころ、此の祭光 主演澤村三兄弟助演ウエスタ 主演澤村三兄弟助演ウエスタ

ンディーベルモフト」

第五十八條 他類に屬せざっ木。竹、籐、木皮、竹皮及經木の類製品、其の漆葉品及蒔繪品の類

類に屬せさる「エボナイト」 第五十九類 骨、角、歯牙及甲殻の類、他類に属せさる其殻の類、他類に属せさる其

ンエレクトリック録音を凌ぐ フの式オールトーキー「楠 エ 父子」はいよく今四日から 長春座で上映する添へものに 日本映講社特作「もの云はぬ 花一ならびにサウンドピクト リアルのハーゲッペックサー カス側の樂屋風景がある。こ の組合せで大阪松竹座で四週 間も續映したこいふ有名な映 間を紹介する。 神うなものではあるが左にこ れを紹介する

中央頭り 番五〇八三點電 へ店服吳ききや

●一白の人 平運なれ 動を誤り時期かざる 長さ巳さ未が吉 三二黒の人 意氣衡率 無き磁連の数の

お事あり

日息十月八期

て洋湾展覽會を開き即費をも の十週年記念會當日同校に於 の十週年記念會當日同校に於 の十週年記念會當日同校に於 九圆川

東六十六類 岡高! 寫眞及印第六十六類 岡高! 寫眞及印第六十七類 卓球具、 運檢乘道

魔電機"電動機"廻轉變流機 第六十九類 電海機械器具及 第六十九類 電海機械器具及 第六十八類 他類に屬せるる 蛟除"注音"蛟除粉末香寺 町七十類 他類に屬せるる商 等 類組線用紙、電氣網線用混和物 襲製品、電氣網線用混和物 電氣版械具用炭素、電氣網 線用板、電氣網線用布。電 電氣版械具用炭素、電氣網 自然電燈"孤光燈"便中光燈。自然電燈"弧光燈"號氣果撥器。 電氣果撥器。 電氣果撥器。 电氯酮鱼橙纸抗器。 斯熱器。 电氯扁鱼橙纸抗器。 斯為器。 电氯扁鱼橙纸抗器。 斯勒斯克普, 电池。 著电器。

念に備へるこさもした 住に當るが紋命艇に

ロペーンの家が頂

新京洋書

本ーム、スウキート、 名作家ジョン、ホワーンの出生家屋は博物 のた、 因に此の名作が はれたのは一八二三年 公園であった

英海軍では艦上機が 曲泉練習で あるさ

位の砂度を

口曲與飛 る時嗣逐艦は随前

見することで。シェークを讀すずに死ぬな。それで記すが見て死ねる。それ まずにわられるか?? 北喜り 悲劇 五

車

書光

五

0オル

ガン

のピアノ

o吹奏樂器

Oシャースードラームセット 外諸樂器 ○ノビリーボンー電氣蓄音器マイクロホン

律正確

色優麗

ツーアンカー

オルガン

THIN

. . . .

(カタログ進星)

大阪市新町二丁目

電話新町144-143

田清本店

NAVA

三拍子揃った

合理的取引

顧

客本位

党業種

伊豫久留米絣 遠州尾州織物 開 輪 洋 反

関部の御利用を御願申ます 忙時の御仕入には是非**刁速** が上再を御光來顧へるとは を提修の御來店と同 は代表では是非**刁速** が上再を御光來顧へると はとす。

各 會株國

社式織

大阪

本大

三阪商

T店**店**

現

金主義

陳列式正札

●織物界の標準相場は不より

●御仕入は先づ皆様の伊吹商店へ

短時日の間に求めらる所にその生命を見出します。 金間 壁は 常に斬しき酵母を売買させ、然もそれ



店商米日離 質融

町馬傳屋古名 橋大島堂阪大 座銀京東 一町本北台 町金黃城京 前驛岡福



株况內報贈呈 大株一艘取引員

大阪市北浜一丁目

代表電話本局八〇七番 電信 | 發信…マ 又ハ マツ 略號 | 受信…キタハマ カブ マツヰ

多少

二不拘御用命願上候

株代

行

株



湊式ポ ケ に ッ は

治 療器 to

ルングライン で手足がしびれ、舌もつれ、半地があの官許楽です。今までの楽でお困りの方は今直ぐに御が強の官許楽です。今までの楽はこれ迄數多の重病者も云を送つて居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送つて居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送って居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送って居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送って居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送って居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送って居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送って居られる方の為目のある武をといる。 大阪市港區市岡元町二丁目(製効目のある試楽を療法書と共に

な利有に時常非

第五

繰し計事弊 供た畫屬社 給。を製の

を造製手軍

四三

第第二一

業 0

3



大 吉川 株 取 3 真 **大阪東區北濱二丁** 直接御取引を希望致します 三商 本電 1 一四四 八九四四 九四— 二六五—

偽物あり久本茂に御注意乞ふ

とかけは 義

營業時間

自午前八時 至午後五時

武職報告書を無代進呈す尚此際特に常例を破り販賣權をも許可す來の堆肥速成原料とする等實に驚く可き神秘的の專賣品にして從病菌を仆し完全肥料とする等實に驚く可き神秘的の專賣品にして從料を施さずして植物の生育を計り又堆肥を速成し其肥料成分を增加料を施さずして植物の生育を計り又堆肥を速成し其肥料成分を增加磨を純培養なすが故に之を直接田畑に施せば空中只の窒素を取り肥肥料の素は窒素菌(アゾトバクター)及醱酵菌其他土壤中の有利細肥料の素は窒素菌(アゾトバクター)及醱酵菌其他土壤中の有利細肥料の素は窒素菌(アゾトバクター)及醱酵菌其他土壤中の有利細胞料の素は窒素菌(アゾトバクター)及醱酵菌其他土壤中の有利細胞料の素は窒素菌(アゾトバクター)及一個工作資分)。定價一圓五十錢(確長地)

說明書送(更郵祭

Ħ

大阪市港區市岡警察前一

九九〇番

肥料

0

發製 賣造 元

女 ヤ 11 人婦 ケド

醫者や薬にたよらず義毛を ゲ、ウス毛、 腫物の跡、 丸ハゲカヅラ

あ もふきは

眉。毛

一、治療的應用 一、治療的應用 一、治療的應用 一、診斷的應用 一、診斷的應用 一、診斷的應用 一、診斷的應用 一、診斷的應用 一、診斷的應用 一、診斷的應用 一、診斷的應用

AOの應用

AOの特長 四家に 進告 上呈說解 目丁四濱北區東市阪大 店商美須 元賣發







